



ZENFUREN

2015年10月2・3日

号外

全国国立大学附属学校連盟
全国国立大学附属学校 PTA 連合会
〒105-0001 港区虎ノ門 1-2-29
虎ノ門産業ビル 8F
TEL : 03-3591-2091
FAX : 03-3591-2092

全附P連PTA研修会 第5回全国大会

校種別分科会

中学校・中等教育・高校合同部会

子どものいじめ問題、情報モラルについて ～保護者が知っておくべきこと～

<講師>木村尚文氏 全国 web カウンセリング協議会・第一学院高等学校理事



木村氏の講演は「ネットがもたらすリスク」、「青少年が育まれるべき社会人基礎力」、そして「親としてどう向き合うか」の3点からアプローチされました。不適切な書き込みや画像は炎上トラブルになるばかりでなく、永久的に社会的地位を失墜してしまいます。軽率な SNS の内容で不採用にした事がある人事担当者は70%もいるそうです。LINE はシンプルワードでやり取りができますが、語彙力が乏しくなる他、相手に正しく理解される確率はたった50%だそうです。また、今は出会い系サイトより非出会い系サイトで犯罪被害に遭う子どもが圧倒的に多いとの事です。ネット社会は社会面、精神面、身体面でダメージを受けるリスクがあるとのお話でした。中高生は社会人の基礎力を養う時期ではありますが、約52万人の子ども達がネット依存であり、ネット依存により睡眠障害、過食や

拒食、成績不振、不登校、暴言や暴力、引きこもりになる危険性があります。今、社会が求める人物の第1位はコミュニケーション能力であると85.7%の企業が回答しています。にもかかわらず、自尊心はアメリカ57.2%、中国42.2%、韓国30.2%に比べ日本の高校生は7.5%とかなり低いそうです。ネット社会は「包丁」のようなもので、親が使い方を教えれば、美味しい料理が作れ、放置すれば怪我をし、しまい込めば美味しい料理を作れなかったり、別の包丁を見つけ、使い方を間違えたりします。私達大人もネット社会と向き合いながら、子ども達が現実社会に対しても、より喜びや充実感を得られる社会にする事が重要だと思いました。



宮城教育大学附属中学校
PTA 会長 千葉真己恵 取材